

学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
農業	農業と環境 (環境)	1	2	「農業と環境」 塩谷哲夫ほか13名（実教出版）	
指導の重点	1 農業学習に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。 2 農業と環境について、論理的に考える力や豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。 3 農業がもつ価値への認識を深め、我が国の農業の担い手として、社会に関わろうとする態度を養う。				
評価の観点	知識・技能	農業と環境についての基礎的・基本的な知識・技術を理解している。			
	思考・判断・表現	農業学習との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり、まとめたりしたことを表現している。			
	主体的に学習に取り組む態度	農業学習に積極的にとり組み、自分の思いや考えを広げたり、まとめたりしている。			
学習の評価	1 定期考査や課題で「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2 授業中のグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3 ファイル・課題提出等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。				
学期	単元	学習内容		学習の目標	
1 学期	農業学習とは何か	・生物を育てる学習 ・農業と環境の学び方		・農業と環境を学ぶための心構えを身に付いている。 ・農業と環境の関係に気づくことができる。	
	人間と植物・動物との関わり	・太陽エネルギーを地球にとどめる植物 ・生物の生命活動のエネルギー ・生物世界のつながり ・物質のつながり ・私たちを取りまく環境 ・森林、水辺、農耕地、都市の生態系について ・身近な野生生物の保護 ・生物多様性の保全と利用		・動植物の生命活動、生物間のつながり、生物のからだを構成する物質の循環について理解することができる。	
	農業と食料供給	・人間と農業 ・農業を支える自然環境 ・農業・技術と食料生産 ・農業・農村の姿 ・食料の流通・消費と食品産業		・人間社会の発展を支える農業の役割について考えることができる。 ・自然環境と農業技術の特徴を理解することができる。 ・食品産業の現状を知り、食生活のあり方を考えることができる。	
	農業・農村の役割	・食料の生産・供給機能 ・地域活性化の原動力 ・国土・環境保全機能 ・文化の形成と継承 ・介護・福祉・教育的機能 ・農村の価値創生		・農業・農村のもつ環境保全、景観形成、文化の継承など、農産物の生産と供給以外の多面的な機能と役割について理解することができる。	
2 学期	これからの社会と農業・農村	・農業とエネルギー ・これからの農業・農村 ・持続可能な農業の維持と発展 ・環境保全と農業 ・農業・農村をとりまく課題 ・都市と農村の共生と対流 ・私たちのなすべきこと		・農業や農村をとりまく課題を整理し、これからの農業・農村のあり方について考えることができる。 ・新たな農業・農村の創造に向けて、どんなことが重要で、私たちは何をしなければならぬかを考えることができる。	
	地域資源の調査	・地域資源の調査とは ・課題設定 ・計画と実施 ・まとめと評価 ・今後の発展的とり組み		・地域調査の意義について考えることができる。 ・調査を実践し、まとめ発表し、課題について考えることができる。	
	家畜の特性と飼育	・家畜と飼育 ・おもな家畜の一生と生産 ・家畜の成長と繁殖 ・家畜の飼料と栄養 ・飼育環境の管理と整備 ・家畜と人間の新たなかわり		・家畜に関する基礎知識を身に付けることができる。 ・家畜の飼育と環境の関係について考えることができる。	
3 学期	ニワトリの飼育と利用	・ニワトリとは ・課題設定と飼育計画 ・飼育の実際 ・採卵鶏の飼育 ・病気と対策 ・ニワトリの加工		・ニワトリに関する基礎的・基本的な知識を身につけることができる。 ・ニワトリの基礎的・基本的な飼養技術について理解することができる。 ・ニワトリの飼育と環境の関係について考えることができる。	
	ウシ（乳牛）の飼育と利用	・ウシとは ・課題設定 ・飼育の実際 ・加工・利用		・ウシ（乳牛）に関する基礎的・基本的な知識を身につけることができる。 ・ウシ（乳牛）の基礎的・基本的な飼養技術について理解することができる。 ・ウシ（乳牛）の飼育と環境の関係について考えることができる。	